

※ 今週のアウトルック(8/16~8/20)

先週前半は円安ドル高、後半は円高ドル安という流れとなりました。

米国経済指標の結果に、大きく左右されているようです。

今週は狭いレンジ内での動きに終始する可能性が高そうです。

ただ、材料が少ない分、ちょっとした経済指標にも過敏に反応する可能性はありそうです。

先週のドル円は、前半は110.7円付近のレジスタンスをブレイクしようとする勢いを見せていましたが、失敗すると反転し、金曜日にはミシガン大学消費者態度指数が市場予想を大きく下回ったことを受け米国債利回りは大幅低下、ドル円も109.6円付近まで下落してそのままNY市場を終了しています。

今週はまず、週末下落の余波がどの程度まで広がるかを確認する必要がありそうです。

このまま米国債券利回りの低下が続く場合には、下落トレンド入りも意識したほうが良さそうです。

ドル円の予想レンジは108円から110.5円です。

先週のユーロ円は非常に狭いレンジの中、幾分下落傾向となっています。

今週はまず、129円付近をベースラインとしてある程度のリバウンドはあるのか、米ドルの下落を受けてユーロドルの上昇はどのあたりまで期待できるのか、このあたりが焦点となりそうです。

ユーロ円の予想レンジは128円から131円です。

ポンド円は先週末に、152円付近まで下落してそのまま終了しましたが、今週はここから反発できるかどうか、まずはポイントとなりそうです。

ポンド円の予想レンジは150円から155円です。

NYダウは上昇トレンドを崩していませんが、円安トレンドとはなっていません。リスクオンというよりはNYダウ単独高と解釈したほうが良いかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。